



人権・同和教育参観日を行いました。

6月20日（金）は、人権・同和教育参観日でした。全学級の授業公開を行い、多くの保護者や関係機関の皆様、市内の教職員の皆様方に参観いただき、子どもたちの学びを観ていただきました。授業後の学年別懇談会では、「子どもの人権」について考えました。ヤングケアラについても理解を深め、自身の子育てを振り返りながら、大事にしているポイントについてグループで意見を交換し、子どもの人権について学び合いました。



校長講話「江戸しぐさ」

6月24日の校長講話で、「江戸しぐさ」の話をしました。

江戸時代からお互いに気持ちよくくらすための知恵として生まれたマナーである「江戸しぐさ」の「傘かしげ」と「肩ひき」を6年生によるデモンストレーションで紹介しました。



「傘かしげ」や「肩ひき」は、「自分も相手も気持ちがいい、周りで見ている人にも感じがいい」公衆のマナーとして、今日まで伝えられています。「江戸しぐさ」から「思いは見えないけれど、思いやりは目に見える。心は見えないけれど、心づかいは目に見えること」を学ぶことができました。

また、中之庄小の子どもたちが実践できている「江戸しぐさ」に通ずることも紹介しました。集団登校などで横断歩道を渡った後、止まってくれた運転手さんにお辞儀をしてお礼を伝えたり、見守り隊の方へ感謝の気持ちを伝えたりしています。また、6年生の修学旅行では、さわやかな挨拶や礼儀正しい行動ができていました。ホテルでのベッドメイキングや、ペットボトルのラベルをはがし、ふたを分けて片づけたりするなど、マナーの良さにも感心しました。自慢の6年生です！私たちは、いろいろな人たちと関わりながら暮らしています。「江戸しぐさ」に込められている「相手を大切にする」行動を取りましょう。

